

システム全体への意識を広げる

人や組織、社会の感情や源泉を含めた全体性を理解し
ダイナミックな変化を生み出すための手法

システムアウェアネス 心理学ベースの行動変革

2025 5/20-21 (火水) 9:30-17:30 開催

東京都千代田区会場
(JR神田駅徒歩2分)

組織論のグーラーであるピーター・センゲ氏曰く、「学習する組織」とは、目的に向けて効果的な行動をとるための意識（アウェアネス）と能力（ケーパビリティ）を継続的に伸ばし続ける組織です。個人及び集団としての意識を広げ、深めることは、組織システムや社会システムが目的を達成する上での大前提にあることがわかります。意識を扱う能力は、自身、組織、そして社会の変革をリードする上で、もっとも重要なことと言えます。

では、その意識を私たちはどのように広げることができるのでしょうか？この意識、そして、そこにつながる潜在意識について、長く研究し、組織リーダーたちを支援してきた横山十祉子さんをゲスト講師に迎えて、深層心理学と組織開発を結びつけるシステムアウェアネスの理論と実践について学ぶコースです。

ヒューマンシステムを
全体的に見る
視点を育てる

気づいていない言動への意識（アウェアネス）の向け方を体得

協働共創にむけてアウェアネスを持って行動するための方法と実践を
体験的に学ぶ

外的システムと内的システムのつながりや相似性について
複合的な理解を深める

講師

横山 十祉子

システムアウェアネスコンサルティング代表
/ 日本プロセスワークセンター元センター長



聖心女子大学文学部教育学科心理学専攻卒業。ポートランドプロセスワーク研究所ディプロマコース卒業。PWI 認定プロセスワーカー。二十数年前、数社の企業経験の中で組織をどう活性化するのに直面し、プロセスワーク（プロセス指向心理学）に出会う。より多様で全体に開かれたシステム変容を目指して、学習する組織、U理論等の手法も取り入れながら、個人向けコーチング、カウンセリング、組織開発、地域開発、人材開発のコンサルティング、ワークショップデザイン・ファシリテーション、ファシリテーター養成、リーダーシップ開発などを手がける。同時に、日本プロセスワークセンター教員としてプロセスワークの普及にも務めたのち、より組織、地域、人材の成長に直接活かせる形としてシステムアウェアネスの手法を開発。また、自身が地域と都市に住み、その循環を体験することで自分の全体性を広げながら社会にそれを活かすことに挑戦中。

小田理一郎

有限会社チェンジ・エージェンツ代表



オレゴン大学経営学修士（MBA）修了。多国籍企業経営を専攻し、米国企業で10年間、製品責任者・経営企画室長として組織横断での業務改革・組織変革に取り組む。2005年チェンジ・エージェンツ社を設立、人材・組織開発、CSR経営などのコンサルティングに従事し、システム横断で社会課題を解決するプロセスデザインやファシリテーションを展開する。デニス・メドウズ、ピーター・センゲ、アダム・カヘン、ビル・トルバートら第一人者たちの薫陶を受け、組織学習協会（SoL）ジャパン代表、グローバル SoL 理事などを務め、国内外でシステム思考、ダイアログ、「学習する組織」の普及推進を図っている。著書に『「学習する組織」入門』（英治出版）、『なぜあの人の解決策はいつもうまくいくのか』（東洋経済新報社）

自分自身の根源につながるには？ 全体性の集合知にアクセスするにはどうすればよいか？

そのヒントは、個人や集団の持つ感情と源が発露する身体にあるといわれています。私たちの身体に焦点を当て人の無意識な言動や挙動を見立て、意識化し、協働共創にむけてアウェアネスを持って行動するために、システムアウェアネスの手法が効果的です

身体性を通じた全人的なアプローチ

産業化の進んだ現代の日本において意識というと、どうしても私たちは頭で考えがちですが、感情と複雑な関係を持つ頭の領域において自らの意識に気づき、それをコントロールすることは難しいものです。「アウェアネス」の基本原則を認識した上で、私たちの身体に焦点をあてることを通じて、人の無意識な言動や挙動を見立て、意識化することが可能になります。

横山さんの実践する「システムアウェアネス」は、深層心理学をベースに、組織や社会などの集団、関係性、個人間の相似性を見出す「フラクタルな」視点での見立てを通じて発展したプロセスワークの視点を出発点にしています。さらに、長年のコンサルティング経験を通じて、学習する組織やU理論、アプリシエイティブ・インクワイアリーなどを融合し、人や組織、社会の感情や源泉を含めた人の全体性を理解し、そこからダイナミックな変化を生み出すための手法です。

システムアウェアネスの実践によって、だれもが持つ個々の源泉につながる資質がリーダーシップへと日々成長していく助けとなるとともに、チームが持つ源泉と所属する個が矛盾しないチームビルディングを目指すことができます。

このコースでは、2日間の演習を通じて自身や他者が気づいていない行動にアウェアネスを向ける体験をし、体得したアウェアネスをその瞬間から具体的にどのように行動に活かしていくかのプランをたてます。

カリキュラム

1日目（基礎編）

システムアウェアネスの個人へのアプローチの基礎と、人間関係の中でもランクに関する応用理論をふまえて、個人、二者での体験を通じアウェアネスの大切さを身体で学びます。

- ・心理学の基礎知識
- ・アウェアネスと身体
- ・システムアウェアネス構造の理解
- ・ランク
- ・システムワークの演習（個人・二者間）
- ・グループワークとエッセンスに関する応用理論
- ・振り返り

2日目（実践編）

グループのシステムに関する体感的な理解とエッセンスのワークによる統合を体験したあと、気づいていない言動にアウェアネスをむけるための「ダブルシグナル」という概念とそれらアウェアネスを持って行動するための方法を体験的に学びます。

- ・ランクの演習
- ・ダブルシグナルの演習
- ・まとめ：シードリアリティと安心安全の器
- ・振り返り

※プログラムは予定です。学習効果を高めるため一部変更になる場合がございます。

このセミナーを次のような皆様にお勧めします

- ・自らの心と体と頭をつなげたい方、論理と感情の統合を図りたい方
- ・現場でリーダーの立場にあって組織の活性化を体感覚で図りたい方
- ・自己マスタリーを深めたい方
- ・クライアントの自己マスタリーを高める支援を行う方
- ・グループを対象にファシリテーションする方

過去ご参加者の声

- ・新鮮な感覚、新しい自分と出会った感覚があります。「身体をつかう」「感性を研ぐ」ということが新しいヒントを得ることにつながるという感覚を得たのでこれを活かしていきたいと思えます
- ・身体を使ったワークとフレームを同時に学べてよかったです。改めてシステムアウェアネスの重要性を感じつつ、横山さん、小田さんの連携に感謝です。
- ・本当の二次プロセスに出会った気がする。それを使い倒したらもっといろいろなものが立ちあられてくると確信。

価格

99,000 円（10% 税込）

お申し込み・詳細

https://www.change-agent.jp/products_services/leaders/leadership/ls02.html

